

令和7年度 立川市・大町市中学生交流事業「中学生サミット」報告

【ねらい】

大町市制施行60周年・合併10年を機に実施された姉妹都市交流事業を継続的に発展、展開し、さらなる姉妹都市間交流を推進するため、立川市と大町市の中学生が集い、親睦と相互理解を深めるとともに、交流活動を通して、これからの未来を託す子供たちの健やかな成長と両市の一層の親善友好を図る。

【これまでの実績】

<平成26年度>大町市の市制施行60周年
<平成27年度>第1回中学生サミット（大町市開催）
<平成28年度>第2回中学生サミット（立川市開催）
<平成29年度>第3回中学生サミット（大町市開催）
<平成30年度>第4回中学生サミット（立川市開催）
<平成31年度>第5回中学生サミット（大町市開催）
<令和2年度>第6回中学生サミット（オンライン開催）
<令和3年度>第7回中学生サミット（オンライン開催）
<令和4年度>第8回中学生サミット（立川市開催）
<令和5年度>第9回中学生サミット（大町市開催）
<令和6年度>第10回中学生サミット（立川市開催）

（●その年度の主な取組）

●立川市の中学校吹奏楽部50名による記念演奏
●立川市・大町市姉妹都市中学生サミット共同宣言
●立川市の魅力に関する成果発表
●北アルプス国際芸術祭の見学
●東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたPR
●英語でのツアーガイド（体験活動、プレゼン制作）
●コロナ禍の生活に関する意見交換
●新たな中学校生活を創造することについての提言
●オーリングリッシュによるSDGsの取組の発表
●SDGsプログラム「水の町・大町」を通した交流
●ものづくり、BBQ、スポーツ体験活動

【共同宣言】

一、私たちは、この中学生サミットを通し、これからも立川市と大町市の交流をより深め、他の地域に発信していくことを誓います。
一、私たちは、両市の未来、都市と農村の共存について考え続けていくことを誓います。
一、私たちは、交流活動を通して得た、互いの市の特徴を生かし、さらなる発展に努めることを誓います。
一、私たちは、離れていても互いの助け合いの心を忘れないことを誓います。



立川市キャラクター
くるりん



大町市キャラクター
おまびょうん

＜令和7年度＞第11回中学生サミット（大町市開催）7月19日（土）～20日（日）
テーマ「大町市ならではの体験プログラムを通して、両市の中学生が親睦を深めるとともに、大町市の自然や両市の相互理解について考えよう」

保護者会・事前学習会
6月7日（土）

中学生サミット【1日目】7月19日（土）

中学生サミット【2日目】7月20日（日）

事後学習

参加者の自己紹介、2日間の行程の確認や大町市についての事前学習を行いました。



<対面式>

大町市牛越市長の御挨拶をはじめ、両市教育長の御挨拶や代表生徒による決意表明をとおして、中学生サミットの目的や目標を全員で共有しました。



<サントリー天然水北アルプス信濃森工場施設見学>

「水育」の授業を受け、水が生まれる仕組みや水を育む活動について学びました。また、天然水を商品化する工程を見学し、山の恵みを大切にする大町市の取組について理解を深めました。



<アロマ調香体験・味噌仕込み体験>

植物から抽出した精油をブレンドしてオリジナルアロマを調香しました。また、蒸した大豆をつぶして、米麹、塩、種味噌をよく混ぜて味噌を仕込みました。



<ワールドカフェ方式による意見交換>

「中学生共同宣言」を深めるための話し合いを行いました。笑顔で意見を出し合い、両市の魅力をどのように発信すればよいかを仲間と共に考えました。



<犀川ラフティング体験>

体験前に安全講習やパドルの使い方を学びました。その後グループで力を合わせてラフティングを行いました。途中、水流が強い場所を通過する際には大きな歓声が上がりました。



<解散式・見送り>

2日間で学んだことを踏まえ、代表生徒がこれからの両市の親善友好について決意表明しました。最後は大町市のみなさんが駅ホームで見送りをしてくれました。



2日間を通して学んだことを参加生徒それぞれが作文としてまとめました。（以下、抜粋）

●今後は私たちが中学生サミットで得た絆をより深め、持続可能な社会に向かっていけるように取組をしなければいけないと思いました。

●仲が深まったと感じたのは2日目のラフティングです。川の流れに負けそうになったとき、みんなで声をかけ合ったり、ボートに戻れない人を引き上げたりして、様々な場面で助け合うことができました。「助け合うことの大切さ」をすごく感じられる活動でした。

●これからもこのような交流を続けていき、互いの市のいいところを周りに発信したり報告したりすることが大切だと思います。

【今後の取組】

●参加生徒が学んだことを生徒会活動等で報告・還元する。
●教育フォーラムで取組の詳細や成果等について発表する。（令和8年1月31日）

